



東栄小だより



令和7年度重点教育 『自ら創る』

令和8年
3月25日発行
第12号



令和7年度を終えるにあたって

校長 谷越 秀樹

3月に入って雪解けが進み、道路のアスファルトが顔をのぞかせるようになりました。幸いなことに3学期、東栄小にインフルエンザの波が押し寄せすることもなく、子どもたちは元気に過ごすことができました。これから先も気温が上がり、心も体も温かに新年度を迎えられることを願います。

さて、3月3日に6年生を送る会を兼ねた「すまいるタイム」が開催されました。すまいるタイムとは、1年生から6年生までが縦割り班となって、小グループで異学年交流を行う活動です。1年生から5年生の児童が6年生にクイズを出したり、5年生が企画した交流遊びなどで楽しみました。互いに「ありがとう」の言葉が交わされるなど、心温まる会となりました。

3月19日（木）には第55回卒業証書授与式を挙行了しました。今年度は40名の6年生が新たな門出を迎え、立派な姿で東栄小学校を卒業していきました。今回の卒業式から全校児童が参列し、卒業生を見送ることができました。

卒業生の教室や体育館に続く廊下、そして式場となる体育館は、在校生が製作した装飾によって彩られ、卒業式当日の体育館には全校児童の歌声「ピリブ」が響き渡りました。

私は子どもたちとお別れをする時に、藤田敏雄さんが作詞した「若者たち」という詩（うた）を贈ることにしています。

旭川市立東栄小学校 卒業証書授与式

君のゆく道は 果てしなく遠い
だのになぜ 歯をくいしばり 君は行くのか そんなにしてまで

君の行く道は 希望へと続く
空にまた 陽が昇るとき 若者はまた 歩き始める



若いときに限ったことではありませんが、一心に頑張ったり、苦しみに耐えなければならなかったりする時があります。周りに励まされても頑張れなかったり、そんな自分が嫌になったりすることがあるかもしれません。ですが、そんな辛い日々は永遠には続かないのです。いつか必ず心の中に希望の光が差し込んで、自分の進むべき道が見えてくる日がやってきます。この詩にはそのような思いが込められているように思うのです。

子どもたちはこれから様々な経験を重ねながら成長していきます。自分の思い通りにならないこともあるでしょう。そんな時は周りの人の支えや励ましも大事ですが、子どもの心の中に力が湧いてくることを信じて、そっと見守っていくことが必要な時もあるはずです。

この1年間、東栄小の子どもたちの成長をあたたく見守り、支えてくださった全ての方々に心から感謝申し上げ、1年間のお礼とさせていただきます。どうもありがとうございました。

第55回卒業証書授与式

3月19日（木）、第55回卒業証書授与式が執り行われました。当日は、卒業生、保護者の皆様、地域の方々、在校生、教職員が一堂に会し、厳かな雰囲気の中で式が進行しました。

式の中では、卒業生一人ひとりがこれまでの学校生活を振り返り、支えてくださった保護者や先生方、友達への感謝の気持ち、そして、これからの未来に向けた決意を堂々と発表しました。その言葉一つ一つに思いが込められ、会場は深い感動に包まれました。その後、校長先生から卒業生一人ひとりに卒業証書が授与され、受け取る姿は誇らしく、ひときわ印象に残る場面となりました。

式の終盤には、在校生と卒業生が心をつにし、仲間との絆や感謝の気持ちをもって「Believe」を合唱しました。また、卒業生からは、旅立ちへの希望と決意を込めて「旅立ちの日に」が歌われ、その澄んだ歌声が会場いっぱいに響き渡りました。涙の中にも温かさがあふれ、忘れがたいひとときとなりました。

最後に、卒業生は在校生や保護者、教職員の拍手に見送られながら、晴れやかな表情で学び舎を巣立っていきました。

これからそれぞれの道へと進む卒業生の皆さんの未来が、輝かしいものとなることを心より願っております。



「学校いじめ防止基本方針」を改訂しました

本校では、このたび「学校いじめ防止基本方針」を改訂いたしました。いじめの未然防止、早期発見・早期対応の取組を一層充実させ、児童が安心して学校生活を送ることができるよう努めてまいります。なお、今年度のいじめの認知件数は138件であり、3か月経過事案の解消率は95%となっております。また、前年度に認知した事案につきましては、すべて解消しております。改訂した基本方針の詳細につきましては、右記のQRコードよりご確認ください。今後とも、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



1年間、保護者や地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後も子どもたちの成長を共に見守っていただきますようお願いいたします。